

学 校 だ よ り

高知市立高知特別支援学校



TEL (088)843-0579

FAX (088)840-9796

防災フェスを開催しました

10月11日(火)、中学部の生活単元学習として、防災フェスティバルが開催されました。

会場の体育館には、「防災クイズ」や「非常食レシピ」、「がれき体験」、「段ボールベッド」などのコーナーが設けられ、防災グッズ(スリッパ・食器など)を新聞紙で作るコーナーでは、実際に作った後、持ち帰ることができるようになっていました。各コーナーでは、生徒が役割を分担し、来てくれたお客さんのために進行や説明の役目を果たしていました。当日は、地域住民や自主防災組織の皆さん、大学生等の参加を得て、学校外とのつながりを意識した活動とすることができました。

「本物の活動」を目指している中学部ですが、災害に関することについては、現実度や実際度を高めることに限界が生じます。しかし、さまざまな想定の中で、訓練を繰り返したり経験を重ねたりしておくことが、いざという時の力になると考えて取組を続けています。



新高梨をいただきました

今年も、㊦(まるはり)針木梨組合さんから新高梨をいただきました。本校にとっては恒例の、新米に続く秋の味覚のプレゼントです。切り分けてそのまま、そして給食室でジャムに調理して、どちらも美味しくいただきました。展示用に準備してくださった大玉は、子どもの頭ほどもある大きさでした。

梨農家の皆さんのおかげで、県特産の秋の実りを味わうことができました。本当にありがとうございました。

トイレ工事が完了しました

北校舎のトイレ工事が終了し、10月31日から使用できるようになりました。出入口が引戸になり、床がドライ化され、照明等の設備やブースの配置が新しくなって、明るい雰囲気の中で快適に使うことができるようになりました。

工事期間中は仮設トイレや別校舎のトイレを利用するようにはしていましたが、大きな混乱なく過ごすことができました。また、工事に伴い教室の手洗い場が使えないという不便も生じましたが、工夫の下で乗り切ってくれました。

ここで感じるのは、「臨機応変」の大事さです。普段(平常)とは異なる状況が生じたとしても、適切な支援を得ながら新たな“普段”としてそれを受け入れていく力は、災害発生などで否応なく非日常の状況に置かれた際に必ず求められることになる力です。工事中、子どもたちには長らく不便をかけましたが、この間、子どもたちが内に持っている対応力を感じさせてもらうことができました。



花苗の贈呈式

10月21日、高知鏡川ライオンズクラブさんから「地域花いっぱい 8030(はちまるさんま)事業」として花苗 120ポットの贈呈があり、中学部の生徒が受け取りました。大切に育てて、地域のたくさんの人に見てもらいます。

き り と り 線

学校だより 返信 No. 11

部 年 組 保護者名